

●各部の名称と操作方法

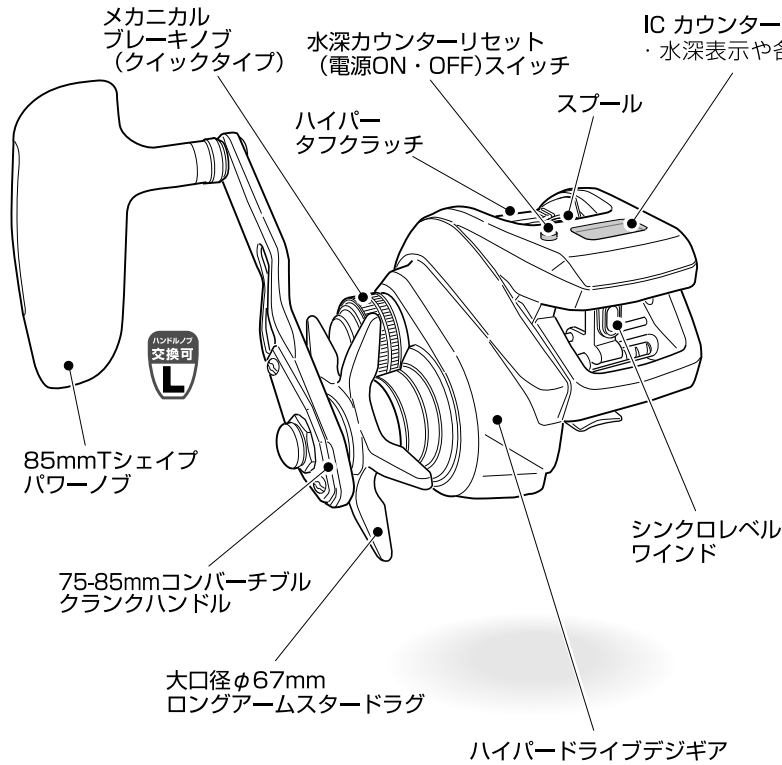
この度は、TIERRA LJ IC シリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品は、基本性能が永く続くことを目指し、全ての基本性能の水準を大幅に高めた設計思想「HYPERDRIVE DESIGN」を採用しています。
このリールを正しくご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
またリール同様この取扱説明書も大切に保管していただきますよう、お願い申し上げます。



HYPERDRIVE DESIGN

TIERRA LJ IC
200/L,200H/HL

取扱説明書



●糸巻き時の注意

軽量スプールを採用しているため、必要以上の高いラインテンションで糸を巻くと、スプールが変形する場合がございます。ラインテンションを掛けすぎないようにご注意ください。PEラインを巻く際は、500g程度のラインテンションでの糸巻きをお薦めします。下巻きにナイロンラインをご使用される場合は、6号以上の太さをご使用ください。下巻きナイロンラインを巻く際は、ラインテンションを掛けすぎないように300g程度のラインテンションでの糸巻きをお薦めします。

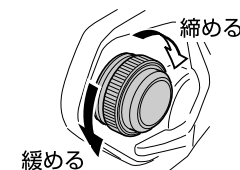


●メカニカルブレーキノブ (クイックタイプ) 操作方法

メカニカルブレーキは、クラッチOFFでルアー (ジグ) を落下させる際、スプール回転にブレーキをかける機能です。
メカニカルブレーキノブは、左右ハンドルいずれも時計回りで締め、反時計回りで緩みます。
本機種はメカニカルブレーキ (クイックタイプ) を採用しておりますので、通常より少ないノブ回転で設定を大きく変化させることができるため、素早く操作することが可能です。クラッチOFFにしてルアー (ジグ) を水中へ投入した際、糸ふけが出すぎないように調整してください。
また、潮流の影響 (二枚潮) やルアー (ジグ) を交換したときにも、同様に調整してください。また、アンダーハンドキャストで軽くキャストする際には、スプールがガタつかない範囲でメカニカルブレーキを調整してください。

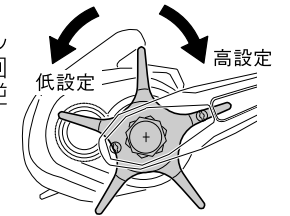
△注意

メカニカルブレーキノブの締めすぎ、緩めすぎにご注意ください。本機種はメカニカルブレーキノブ (クイックタイプ) を採用しておりますので、通常のメカニカルブレーキノブより少ないノブ回転で、設定が大きく変化します。
メカニカルブレーキノブを締め込みすぎた状態で使用すると、スプールシャフトが焼きつきを起こし、異音が発生する場合があります。また、ブレーキ力を強くしすぎると、構造上ハンドル回転に抵抗が生じます。
メカニカルブレーキノブを緩めすぎた状態で使用すると、スプールのガタつきや振れが大きくなることで、スプールとフレームの間隙へラインが入り込んだり、落下スピードのダウンやノイズ発生のおそれがあります。更にはスタードラグとの干渉や、メカニカルブレーキノブの脱落・パーツ紛失のおそれがあります。ご注意ください。



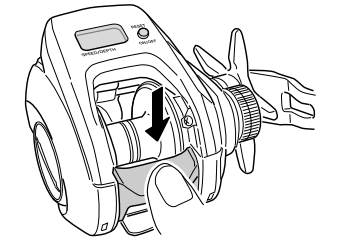
●ドラグ調整方法

・時計回りに回せばドラグ設定は高くなり、反時計回りに回せばドラグ設定は低くなります。使用ライン、釣種に合わせて調整を行ってください。
※左ハンドルモデルは回転方向が逆になります。



●ハイパータフクラッチ

・幾度となく移動するクラッチのオンオフにも耐え、作動し続ける最先端のクラッチシステムです。
・親指で軽く下に押すだけで、クラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。
親指でクラッチとスプールを同時に押さえることができるので、すばやく操作が行えます。
※「カチッ」と音がするまで確実に切ってください。



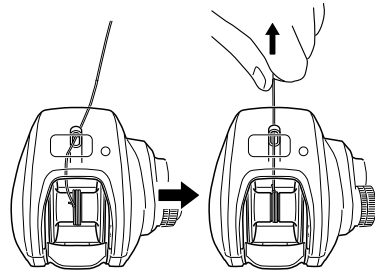
●安全上の注意



- ①糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて釣りをしないでください。指はさまれて、怪我をする恐れがあります。
- ②糸が勢いよく出ている時は、糸に触れないでください。糸で指を切る恐れがあります。
- ③幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故や怪我につながる恐れがあります。
- ④キャストの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、怪我をする恐れがあります。
- ⑤ハンドルとボディの間に指をはさまないように注意してください。指をはさまれて怪我をする恐れがあります。
- ⑥糸が勢いよく出ている時は、スプールの上に指を置かないようにご注意ください。ヤケドや、指をはさんで怪我の原因になる恐れがあります。

●スプールにPEラインを巻きはじめる時の結び方

- PEライン使用に際しては、糸がスプールから空転するのを防止する為、3回から5回程、糸をスプールに巻きつけた後、しっかりと結び付けてください。
また、結び付けた後、強く引っ張っても糸がスプールから空転しないことを確認した後、糸巻きを開始してください。



●ご使用上の注意



- ①根掛かりした時は、無理に竿をあおらず糸を手にとって切るようにしてください。竿をあおると、竿折れの原因になります。(その際は、手袋やタオルで手を保護してください。)
- ②リールのワンウェイクラッチ部に注油しないでください。ハンドルが逆転し、手にあたり怪我をする恐れがあります。
- ③ドラグを長時間連続使用すると、ドラグ収納部が熱くなり、ヤケドをする恐れがあります。
- ④ドラグ付きリールで遠投する際には、ドラグが滑ると糸で指を傷つける恐れがあります。必ずドラグをよく締め付けてから投げるようにしてください。
- ⑤リールを長時間収納するときは、水分を完全に切り、なるべく通気性のよい場所に保管してください。
- ⑥ドラグ付きリールは、釣り後にドラグを緩めて保管してください。ドラグをキツく締めたまま保管すると、ドラグワッシャーが濡れ、ドラグ性能が低下する事があります。
- ⑦使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻糸量、巻糸状態に差異が生じる場合があります。
- ⑧落下などの強いショックがかかると、破損する場合がありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ⑨本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。

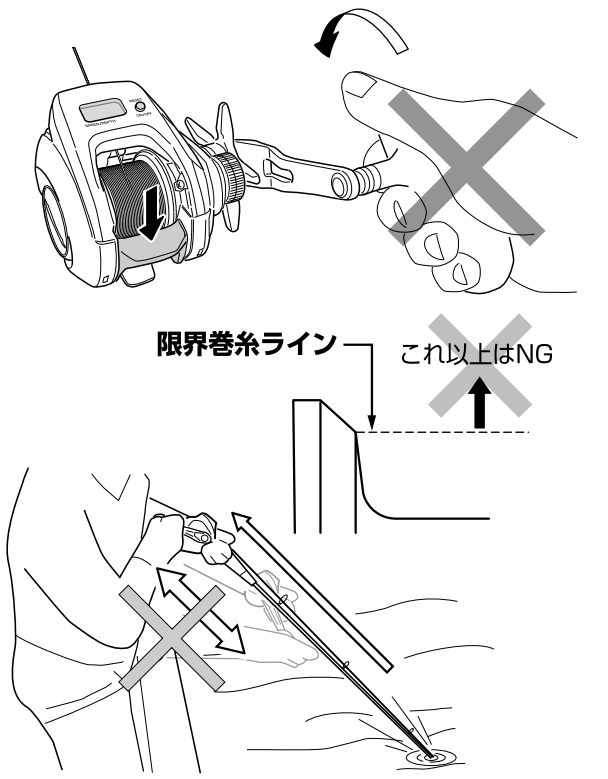
- ⑩本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損する恐れがあります。
- ⑪リールの回転部にはグリスや油が付いてますので、服を汚さないようにご注意ください。
- ⑫クラッチを押し込んだまま、ハンドルを回さないでください。(クラッチを押し込んだままハンドルを回すと、クラッチ及びストッパー、ギア等の破損につながります。)
- ⑬ルアーやワームをリールに引っ掛けるのはお止めください。リールを傷つけたり、塗装がはがれたりすることがあります。
- ⑭塩分を含んだ海水で道糸が湿った状態のまま保管するとスプールが腐蝕する恐れがあります。水道水を巻糸部だけにあたるように掛けて海水を十分流してから保管してください。
- ⑮シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、本機の表面が変質したり塗装がはがれたりすることがあるので、ご使用にならないでください。また、上記が手に付いたまま本機を扱うこともお止めください。
- ⑯弊社純正品以外の取り付けによる不具合は保障できません。また、弊社純正品以外の部品が取り付けられたままでの修理は場合によってはお断りさせて頂く場合がございますのであらかじめご了承ください。
- ⑰製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

●キャストिंगでのご使用は大変危険です！

- ①本製品は、オートリターンクラッチ機構搭載のため、勢いよくキャストを行うと、キャストの衝撃でハンドルが回転し、クラッチが返ってしまいます。ルアー (ジグ) が飛んでいかずに、周囲の人やご自身にルアーが当たるなど、大変危険です。最悪の場合、ギアや内部パーツの破損に繋がる恐れがあります。絶対にお避けください。
あくまでアンダーハンドキャストで、安全に注意してキャストする程度のご使用を前提にしてください。

※本製品は、キャストブレーキ機能を搭載しておりません。
※本製品は、ロングハンドル搭載のためキャスト時などのクラッチ返りが起こりやすくなりますので、ご注意ください。

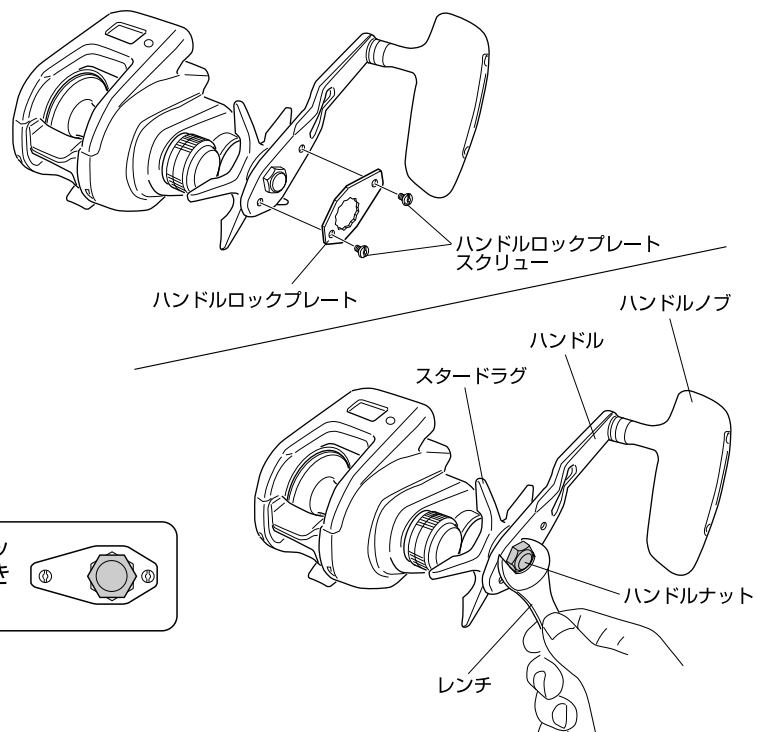
- ②クラッチレバーを押し込んだまま、ハンドルを回さないでください。
※クラッチを押し込んだままハンドルを回すと、クラッチおよびストッパー破損につながります。
- ③オーバーヘッドでのキャストはしないでください。
※クラッチが戻り、糸が切れる恐れがあります。
- ④スプールの着脱は内部構造が複雑なためおやめください。
- ⑤PEライン1号以下の細糸使用時において、糸巻きの偏りやバックラッシュの発生によりスプールとフレームのすきまに糸が入り込む場合がありますのでご注意ください。
- ⑥糸巻終わり径は図の通り最大でもスプール外周面取部下端までとすることをお奨めします。
巻糸量が多すぎると、ラインのトラブルや、道糸入力時にエラーが発生する可能性があります。
- ⑦フロントカバーやフレームに糸が当たると、傷つく場合があります。糸を巻く際は、糸がリール本体に触れないようにご注意ください。
- ⑧最大ドラグ力の範囲内での使用をおすすめします。
過度なドラグをかけた状態での使用は、このリールの適正使用条件を強制的に大きく超えますのでおやめください。
- ⑨ロッドの弾性を使用しないストレートボンピングは、ギアへの負担が大きくなり回転性能低下の原因となります。ご注意ください。
- ⑩標準巻糸量は、UVFソルティガデュラセンサー8+ Si² + リーダー5m程度を目安としています。巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。



● **ハンドル交換方法** (※図は右ハンドルモデルです。)

※ハンドルナットは左ハンドルの場合、逆ネジとなっておりますので特にご注意ください。

- 市販のマイナスドライバーでハンドルロックプレートスクリューを2カ所緩め(反時計回り)、ハンドルロックプレートを外します。
- スタードラッグを締め込み、市販のレンチを使い、反時計回りでハンドルナットを外します。(左ハンドルは時計回り)
※ダイワRCSベイトキャスティングリール純正オプションハンドルには、ドライバーとレンチを兼ねた取外し用の工具が入っております。
- ハンドルを外し、ハンドル長の変更およびハンドル交換してください。
レンチを使い、ハンドルナットを取り付けます。強めに時計回りに締めてください。(左ハンドルは反時計回り)
- ハンドルロックプレートを取り付け、市販のマイナスドライバーでハンドルロックプレートスクリューを締めて(時計回り)ください。



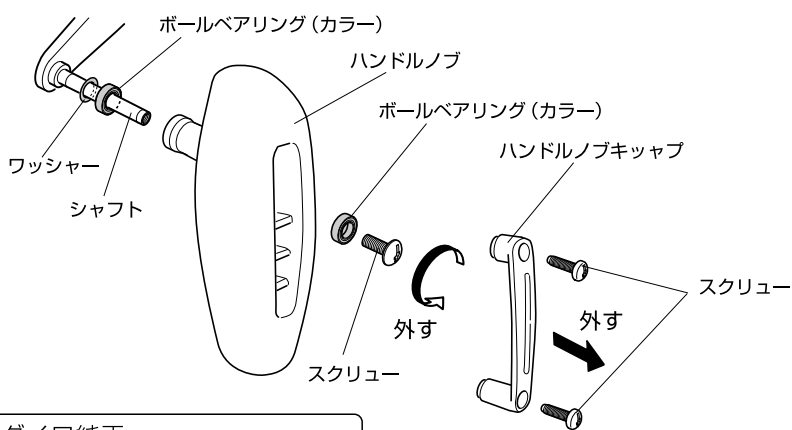
※ハンドルナットはハンドルロックプレートの溝に合うようにきつめに締めてください。

● **ハンドルノブ取付方法** (※Lサイズノブと互換性があります。)

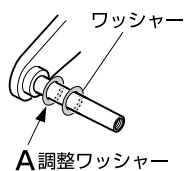
● **85mmT シェイプパワノブの場合**

- 市販のプラスドライバーで2カ所スクリューを緩め(反時計回り)、ハンドルノブキャップを外します。
- 市販のプラスドライバーを使用し、スクリューを反時計回りに回し、外します。

※ノブを取り付ける際は、逆の手順で行ってください。



※ハンドルノブのガタが大きい場合は、ダイワ純正RCSオプションハンドルノブに付属しているワッシャーを図Aの位置に追加してください。(追加する場合、ワッシャーを入れすぎるとハンドルノブが回転しなくなるのでご注意ください。)



● **展開図&部品表**

『 **パーツ情報 確認方法** 』

パーツ情報については【ダイワパーツ検索システム】よりご確認ください



QRコードまたは検索

ダイワパーツ検索システム 検索

● **アフターサービスについて**

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品注文の際はご購入の求めの販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター(無料) 携帯電話からご利用できます

TEL 0120-506-204 【受付時間】 9:00~17:00 (土・日・祝祭日は除く)

ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます

www.daiwa.com/jp/

グローブライド株式会社

〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16

Printed in THAILAND

● **お手入れ方法**

- 本製品は、精密部品で構成されています。下記の注意事項を守ってお取り扱いください。
- 錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で、釣行後必ずメンテナンスを行なっていただくことが重要です。但し、ボールベアリングやギア等は消耗品であり、長期間のご使用により、初期性能は低下する可能性があります。
- 本製品を永らくお使い頂くためにも、年に1度は(株)スポーツライフプラネットヘアーホールに出すことをお勧めします。(有料)

＜ **順序** ＞

- ①使用後は、なるべく早く水洗いしてください。摺動部や回転部に残った塩分や汚れを洗い流すためです。
※特に海水域で使用したまま乾燥すると塩が結晶化してしまい、水洗いの効果が低下します。
・様々な角度から水を掛け流してください。内部に残った海水や塩の結晶を溶かして洗い流すイメージです。
・クラッチは、オン⇄オフを繰り返しながらよく水を掛け流してください。ハンドルやハンドルノブも回しながら水を掛け流してください。
※温水による洗浄やリールを水没させての洗浄、洗剤等での洗浄は絶対におやめください。適材適所で使い分けられているオイルやグリスを流出させてしまいます。結果的にボールベアリング、ギアなど重要回転部品の耐久性を損ないますので絶対にお止めください。
・ボディの隙間など、細かな部分が汚れている場合は、綿棒などで汚れを取り除いてください。

②洗浄後は、よく水を切って乾燥させてください。

- ・よく水を切るために、**ハンドルやクラッチ、スプール等の作動部を動かしながら行うと効果的**です。
- ・スプールやフレームなどの水分は、タオルなどで拭き取ってください。海水が十分に洗い流されていないと拭きこぼしがあると、乾いて塩分が結晶化してしまい、スプールやフレームを傷つけてしまう場合があります。
- ・**ドラッグを緩め、水抜き穴を下にして陰干ししてください。**また、直射日光を避けてなるべく通風性の良い場所で乾燥させてください。

※濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間(自動車のトランク、ダッシュボード等)に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

・内部の水分が完全に乾燥するまでは5日ほどかかります。**乾燥中は、出来れば1日1回程度、ハンドルやクラッチ、スプールなど作動部を動かしてください。**

※溶剤(シンナーなど)では手入れしないでください。

③以下の注油規定に則り、必ず注油してください。

④保管の際は、ドラッグを緩めてください。

■ **注油規定** ⚠️ **※注油規定以外の注油をされるとリール本体に不具合が発生することがあります。**

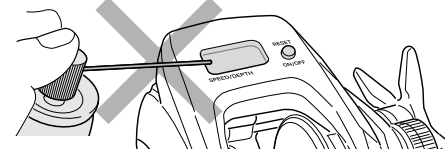
＜ **注意点** ＞

- ①使用後はリールの汚れ、ゴミをきれいに拭き取ってください。
- ②溶剤(シンナーなど)では手入れしないでください。
- ③ギア部などリールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なためおやめください。また、グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性があります。ご注意ください。

※推奨オイル：ダイワリールガードオイル(商品コード:04980019)
ダイワリールガードグリス(商品コード:04980020)
(釣具店様にてご注文ください。)

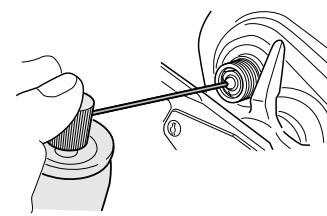
※市販の防錆潤滑剤等のご使用は結果的にボールベアリングや内部機構部品等の耐久性を損なう恐れがありますのでおやめください。

- ④ICカウンター周辺への注油や化学薬品類等の有機溶剤を用いた洗浄はしないでください。電装部の故障につながります。



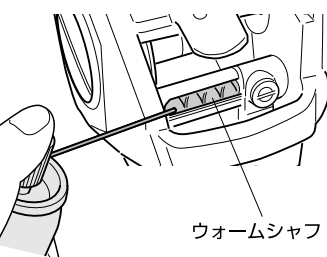
【 **スプール部ボールベアリングへの注油(オイル)** 】

- ①メカニカルブレーキノブを取り外し、内側に見えるボールベアリングに注油します。
(極少量、スプレーオイルの場合軽く一吹き程度までにしてください。)
※つけすぎは逆にボールベアリングの本来の回転性能を損なう恐れがあります。



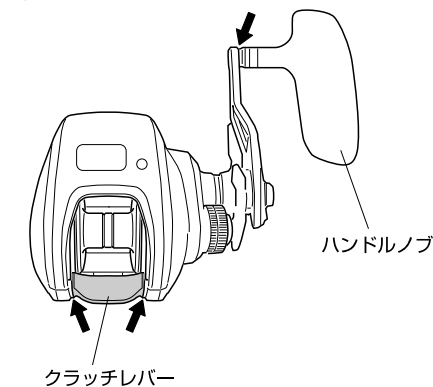
【 **ウォームシャフト部への注油(グリス)** 】

- ①図の様にウォームシャフト部へ注油します。
※グリスがICカウンターへ飛散しないようご注意ください。
※長時間ご使用になり、汚れが激しい場合は、一度オイルを吹き付け汚れを浮かしてからウエスで拭き取り、その後、グリスを注油してください。



【 **ハンドルノブ、クラッチへの注油(グリス)** 】

- ①図の様にハンドルノブへ注油します。
※グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性があります。ご注意ください。
- ②図の様にクラッチと本体との摺動部にも注油してください。



※水抜き穴への注油は絶対におやめください。
※ギア部等リールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、おやめください。
※落下などのショックを与える事で異音の発生や、スプールフリー性能が変わることがあります。お取扱いは充分にご注意ください。

● **取扱い・保管上の注意!**

- ・保管の際は必ず竿から取り外してください。
- ・リールを長時間(数ヶ月以上)ご使用にならない場合は、リール作動部を時々動かすことをおすすめします。
- ・ジグ(ルアー)などをリールへ引っ掛けることはおやめください。リールを傷つけたり、ラインが傷ついたり、場合によっては傷から腐食が起こる場合があります。
- ・海水中に長時間放置しないでください。
- ※船べりのロッドホルダー穴へ竿にリールをつけたまま入れる場合は、船べりにリールが直接当たらないか確認してください。当たる場合は、ロッドホルダー穴へ入れることはおやめください。リールを破損する恐れがあります。

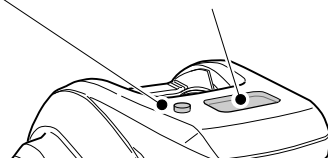
●各部の名称 (※図はTIERRA LJ IC 200シリーズ)

この度は、TIERRA LJ IC シリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。このリールを正しくご使用いただくために、使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。またリール同様の取扱説明書も大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

水深カウンターリセット (電源ON・OFF) スイッチ IC カウンター
・水深表示や各設定を表示します。

※操作方法については、本取扱説明書の裏面をご覧ください。

※リール各部の名称やメンテナンス方法については「取扱説明書」をご覧ください。

TIERRA LJ IC
200/L,200H/HL

ICカウンター取扱説明書

●電池取扱い上の注意

- ①電池は乳幼児の手の届かないところに置き、万一電池を飲み込んだ場合はすぐに医師に相談してください。電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合には死に至ることがあります。
- ②電池の液が目に入ったときは、目に障害を与えるおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分洗った後、医師の治療を受けてください。
- ③電池を火の中に入れたり、加熱、分解しないでください。絶縁物などを損傷させ、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。
- ④電池の (+) と (-) を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を引き起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。
- ⑤電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- ⑥電池はゼロハンテープなどで皮膚に固定しないでください。皮膚に障害を起こす恐れがあります。
- ⑦電池に漏液や異臭があるときには、漏れた液体に引火する恐れがありますので、すぐに火気から遠ざけてください。
- ⑧電池が漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがありますので、下記のことは行わないでください。
- 電池の (+) と (-) を針金などで接続接続したり、また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れたりする恐れがあります。
 - 電池は充電しないでください。充電すると電池内の電解液が加熱され、ガスの発生で内部圧力が上昇する恐れがあります。
 - 電池を直接はんだ付けをしないでください。熱により絶縁物などを損傷させる恐れがあります。
 - 電池を保管する場合および破棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください。電池を他の電池や金属製のものと混ぜたりすると、電池がショートする恐れがあります。



警告

●カウンター電源について

電池寿命が近づいてくると、カウンターに「E」が点滅します。
※電池寿命は通常使用で2年程度、LEDバックライトの設定が「常時点灯 (on2)」の場合は約8時間の釣行で5回程度です。
※付属の電池はテスト用です。作動期間を保障するものではありませんので、お早めに新しい電池と交換してください。



注意

- ①電源はOFFにしてから電池交換してください。
- ②電池交換は屋内の湿度の低いところで行い、バッテリーケース内に水滴等が入らないように注意してください。
- ③バッテリーケースを開けたまま、長時間放置しないでください。(電池交換作業は5分以内に終了してください)
- ④電池を取り外した時に現れる金属部分は手や金属で触らないでください。
- ⑤長時間ご使用にならないときは本体から電池を抜いてください。
- ⑥使用済の電池は、各自自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。
- ⑦電池交換時、バッテリーキャップやパッキン等の部品に傷がついたり、異物が入り込むと防水性能や機能に不具合が生じる可能性がありますのでご注意ください。
- ⑧電池が漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがありますので、下記のことは行わないでください。
 - 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
 - 電池は長時間直射日光や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
 - 電池を水で濡らさないでください。
 - 電池は直射日光、高温、高湿の場所を避けて使用、保管してください。電池の寿命を下げることもあります。
 - 電池の使用、保管時に発熱、変形など今までと異なることに気づいたときは、使用しないでください。

●ICカウンターご使用上の注意

- ①水中に浸すなど無理なご使用はおやめください。
 - ②防水性を考え、バッテリーキャップは出荷時にしっかりと閉めてあります。電池交換以外でのバッテリーキャップ開閉はおやめください。
- ※カウンター電源のON・OFFはリセットスイッチの操作で行ってください。
- ③性能上、真冬(カウンター表面温度-10℃以下)および真夏(カウンター表面温度60℃以上)の際には液晶表示が見えにくくなる場合があります。
 - ④偏光グラス使用時、性能上、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
 - ⑤電源ONの時、静電気などの影響により、一瞬液晶表示の一部が点灯することがありますが、故障ではありません。安心してお使いください。



注意

ICカウンターが正常な場合でも、使い込んでいくうちにカウンター誤差が生じてきたときには、道糸が伸びていることが考えられます。その際にはお手数ですが再び道糸入力を行いなおしてください。

●アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際はご購入の販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター(無料) 携帯電話からもご利用できます

TEL 0120-506-204 【受付時間】9:00~17:00
(土・日・祝祭日は除く)

ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます

www.daiwa.com/jp/

グローブライド株式会社

〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16

Printed in THAILAND

●電池交換方法

- ①コインなどを使ってサイドプレートのバッテリーキャップを「OPEN」の矢印方向に回し外します。(図1)(電池が落下しないようご注意ください。)
- ②古い電池を取り外します。
- ③新しい電池を入れます。(手前が+になるようにしてください。)
- ④バッテリーキャップを付けて、閉めてください。
※バッテリーキャップを取り付ける際は図2のように目印をケース側のOPENの位置とあわせてください。(左ハンドルは図3を参考にしてください。)
- ⑤電池交換後、カウントダウン表示の後、「0.0」の表示になれば正常です。
※電池はCR2032です。
※電池交換後も各種設定データ(道糸データ、アラーム設定、LED設定)は消えません。

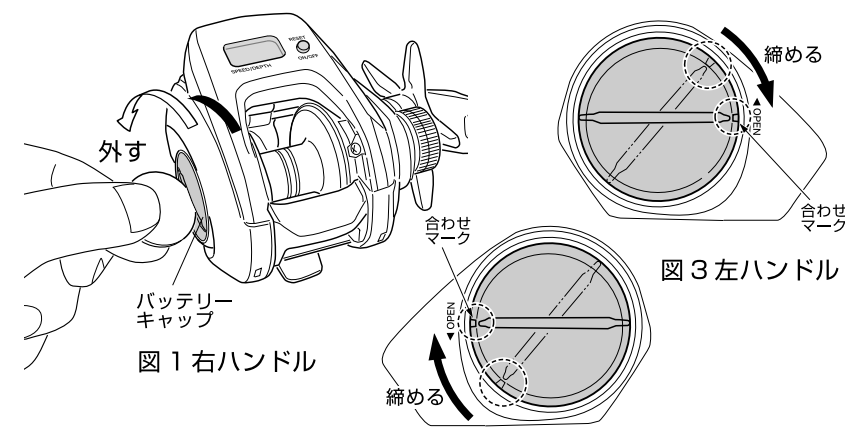


図1 右ハンドル

図2 右ハンドル

図3 左ハンドル

●故障かなと・・・考える前に

症状	処置	備考
カウンター表示がつかない。	①リセットスイッチ(電源ON・OFF)を押してください。 ②室温にしてみよう一度たしかめてください。	- 10℃以下、60℃以上の場合、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
カウンター表示が消えない。	③電池切れ、+-逆入れなどについて確かめてください。	電池については本マニュアル中の該当する欄をご覧ください。
カウンター表示が勝手に消えた。	リセットスイッチ(電源ON・OFF)を5秒以上表示が消えるまで押してください。	表示が消えたらスイッチから手を離してください。押し続けると変更モードになります。
カウンター表示がうすくなった。	リセットスイッチを押してください。但し、初期状態になります。押ししても表示しない場合は、電池を交換してください。	このリールには自動節電機能がついております。(約60分)
アラームが鳴らない。音が小さい。LEDが点灯しない、暗い。	電池寿命が近づいています。又は設定がOFFになっているので設定をONにしてください。	CR2032 コイン型リチウム電池を交換してください。
電源ON時英数字が数秒表示される	当社で使用する識別表示のため、故障ではありません。	
各設定モードへの移行時「Err」が表示される	電池寿命が近づいています。設定を変更できません。	CR2032 コイン型リチウム電池を交換してください。
カウンターに「E」が点滅する。	電池寿命が近づいています。新しい電池と交換してください。	CR2032 コイン型リチウム電池を交換してください。
誤差が大きい。	お手数ですが再び入力をやり直してください。	下巻きをして道糸を入力する場合、下巻き入力を行ってください。
各種設定が変わってしまった。	お手数ですが、設定を確認後、再び設定をやり直してください。	設定方法については本マニュアル中の該当する欄をご覧ください。
	タックルボックスに入れての移動や船べりロッドホルダーへの竿の立て方によっては、ボタンが長押し状態になり設定が変わってしまう場合があります。	

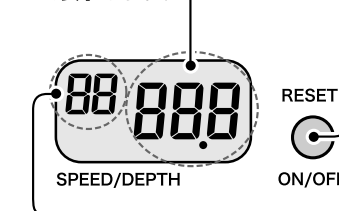
※上記の点検が行われても、正常にならなかつたり、おかしいと思われたときには、ご購入の求めの販売店、またはお客様センターにおたずねください。他の故障が生じた場合や部品ご注文の際にも同様をお願いいたします。

●カウンター電源ON・OFFのしかた

液晶表示が点灯しているときは、電源ONの状態です。
ONにする-----スイッチを押してください。
OFFにする-----スイッチを5秒以上、表示が消えるまで押してください。
自動節電機能について
電源ON時、約60分間以上無使用の状態がつづくとき省エネのため、自動的に電源OFFとなる節電機能がついております。
※電源をOFFにしても道糸のデータはメモリーされていますのでご安心ください。

●カウンターのはたらき

- 10cm単位水深カウンター
水面からの水深を10cm単位で表示します。



- 水深カウンターリセット(電源ON・OFF)スイッチ
このスイッチを2秒押すと上のカウンター表示が「0.0」になります。
※表示10.0m以上で上記操作を行うと、糸切れ補正となりますのでご注意ください。(裏面【糸切れ補正のしかた】参照)

- 巻き上げ速度 / 落下速度 / タイマー表示
※初期設定は巻き上げ速度表示になっています。
※落下速度表示はOFFになっています。
- 巻き上げ速度表示
ハンドル回転時、巻き上げ速度を0~H表示にて目安として把握することができます。
- 落下速度表示
ハンドル回転時、落下速度を視覚的に表示して目安として把握することができます。
- タイマー表示
水深7mにて自動スタート。仕掛け投入時間(分)を表示します。

●巻上げ速度表示

※巻上げ速度表示の数値は、下表の通りです。
 ※実釣時の表示値は実際の巻上げ速度に準じた数値です。
 ※ラインを送り出している時は、消灯します。

表示	巻上げ速度 (cm/秒)	表示	巻上げ速度 (cm/秒)	表示	巻上げ速度 (cm/秒)
0	0~20	2	40~60	6	120~140
1	20~40	3	60~80	7	140~160
		4	80~100	8	160~180
		5	100~120	9	180~200
				H	200~

●落下速度表示

※落下速度表示は、下表の通りです。
 ※実釣時の表示値は実際の落下速度に準じた数値です。
 ※落下速度表示は初期設定がOFFになっています。

表示	落下速度 (cm/秒)	表示	落下速度 (cm/秒)	表示	落下速度 (cm/秒)
F	0~30	F	60~90	F	150~180
F1	30~60	F	90~120	H	180~
		F	120~150		

●タイマー

仕掛け投入経過時間 (1~9分まで) をズバリ表示。手返しペースを作るのにとっても便利です。
 タイマーは、水深7mからオートスタートし、水深7m以下では消灯します。
 ※タイマー表示は初期設定がOFFになっています。



●巻上げ速度/落下速度/タイマー部表示内容設定

- 1 カウンター [0.0] の状態でスイッチを 18 秒押し続けてください。
 ※ 5 秒で表示が消えますがそのまま押し続けてください。8 秒でアラーム設定の画面になりますが、そのまま押し続けてください。
 ・ 11 秒で LED 設定の画面になりますがそのまま押し続けてください。
 ・ 15 秒で道糸入力画面になりますが、そのまま押し続けてください。

- 2 表示内容設定画面になります。
 スイッチ操作で下記の 3 種類を選択できます。(①~③の繰り返し)
 ①巻上げ速度表示 ②タイマー ③表示無し



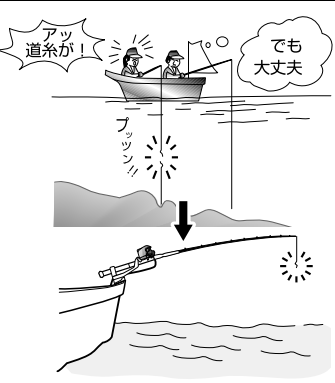
- 3 ①の巻上げ速度表示を選択した場合、5 秒以上長押しで、落下速度表示の ON/OFF 設定画面になります。スイッチ操作で下記の 2 種類を選択できます。(ON/OFF の繰り返し)



- 4 選んだ画面でスイッチを長押ししてください。表示が [0.0] になり完了です。

●糸切れ補正のしかた ※スイッチを長押しするだけで一発修正。

- 1 切れた道糸の先端を竿先近くまで巻いてください。
- 2 スイッチを押し続けて数字が 0.0 になれば修正完了です。
 切れたライン分のデータを修正します。



※糸切れした場合のデータ修正以外はカウンター誤差の原因になりますので、表示 10m 以上での長押しはしないでください。

●LED バックライト設定方法 ※出荷時は③に設定されています。

- 1 表示が [0.0] の時に、スイッチを 11 秒間押し続けてください。
 ※ 5 秒で表示が消え、8 秒でアラーム設定画面になりますが、そのまま押し続けてください。

- 2 バックライト設定画面になります。
 スイッチ操作で下記の 3 種類を選択できます。(①~③の繰り返し)

- ① on1 スイッチを押しした時に 5 秒間点灯します。
- ② on2 常にバックライトが ON になります。(スイッチを 1 回押しごとに点灯、消灯の切り換えができる設定です)
- ③ off 常にバックライトが OFF になります。

- 3 選んだ画面で、スイッチを長押ししてください。表示が [0.0] になり完了です。

●船べりアラームの使い方

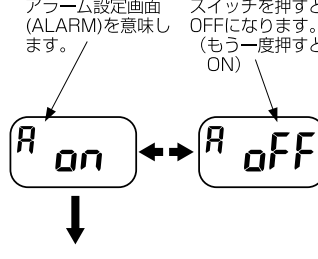
巻上げ中、水深 8m より 2m 間隔で「ビッ」。水深 2m で「ピーッ」と鳴り、仕掛けが船べりに近付いて来るのをお知らせします。
 アラーム音で巻くのを止めれば丁度、仕掛けが手元にくるからラクラク！穂先の巻き込みなどトラブル防止のためにも、ご使用ください。

●デブスアラーム設定方法

アラーム音は、アラーム音 OFF を含めて 4 つの設定から選択できます。
 ①アラーム音 OFF。
 ②水深 10 m ごとにアラーム音 1 回の繰り返し。
 ③水深 10 m ごとにアラーム音 1 回~3 回の繰り返し。
 ④水深 10 m ごとにアラーム音 1 回~5 回の繰り返し。
 ①~④いずれも、フォール設定、巻上げ設定それぞれで ON/OFF 設定が可能です。

1 アラーム設定

※出荷時は「on」に設定されています。
 カウンター [0.0] の状態でスイッチを 8 秒押し続けてください。5 秒でカウンターが消灯しますが、そのまま押しつづけてください。
 A が表示されましたら、スイッチを離してください。アラーム設定画面になります。(アラームを OFF にしたい場合はスイッチを押します。)
 ※アラーム設定を終える場合は、5 秒スイッチを長押ししてください。

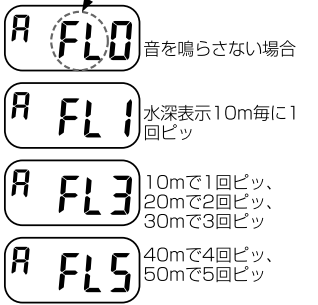


「ON」を選択した場合…… 2 デブスアラーム (フォール) 設定へ移行します。
 「OFF」を選択した場合……アラーム設定を完了し、初期画面 [0.0] に戻ります。

2 デブスアラーム(フォール)設定

※出荷時は「FL5」に設定されています。

- ①右記の 4 種類を選択することができます。
 ※スイッチを押すたびに FL0 → FL1 → FL3 → FL5 を繰り返します。

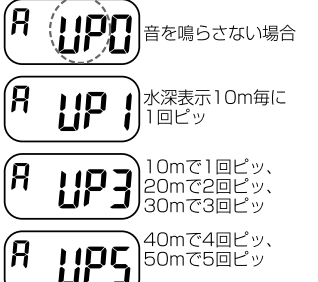


- ②設定したいモードで 5 秒スイッチを長押ししてください。3 デブスアラーム (巻上げ) 設定へ移行します。

3 デブスアラーム(巻上げ)設定

※出荷時は「UP1」に設定されています。

- ①右記の 4 種類を選択することができます。
 ※スイッチを押すたびに UP0 → UP1 → UP3 → UP5 を繰り返します。

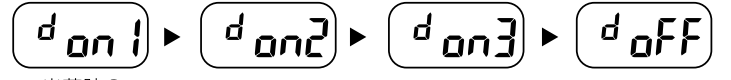


- ②設定したいモードで 5 秒スイッチを長押ししてください。電子ドラグサウンド設定が表示されます。

●電子ドラグサウンド設定方法 ※出荷時は「on1」で設定されています。

3 デブスアラーム (巻上げ) 設定が終わりますと、電子ドラグサウンド設定画面になりますので、上記の「●デブスアラーム設定方法」を参考に設定を行なってください。

- ※アラーム設定で OFF を選択すると電子ドラグサウンドも OFF になり、設定画面が表示されません。
 ①図の 4 種類を設定することができます。
 ※スイッチを押すたびに on1 ⇒ on2 ⇒ on3 ⇒ off を繰り返します。
 ※ on1 ~ 3 がそれぞれ表示される際に、設定されるドラグ音が流れます。



※出荷時の設定です。

- ②設定したいモードで 5 秒間スイッチを長押ししてください。初期画面の [0.0] に移行し設定完了です。

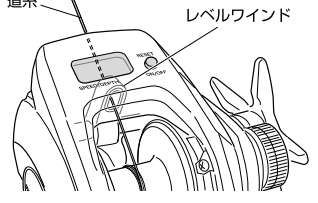
※200サイズにはあらかじめUVFソルティガデュレーションセンサー×8+Si² 2号-300mのデータが入力されています。200サイズにUVFソルティガデュレーションセンサー×8+Si² 2号-300mを巻く場合は、データのインプットは不要です。PEラインは同じ号数でも太さにばらつきがあります。そのためカウンター表示と糸のマーキングにズレが生じる場合がありますが予めご了承願います。※巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。

●道糸入力の方法

- ▲注意
- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。
 - ・PE0.4号未満の道糸は入力することができません。

■P1：リールに巻く糸の長さがわかる編 ●リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。※ 50m から 990m までの長さが入力可能です。

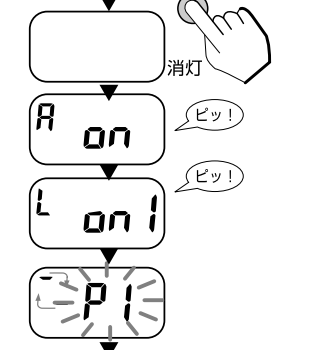
- 1 道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。
 ※スプール面での糸滑り防止のため、必ずしっかりと糸を結んでください。
 ※スプールに巻いた糸が滑ると、糸が巻き取れなくなる場合があります。
 ※ドラグをしっかり締めてください。



- 2 スイッチを押してカウンターを表示させてください。



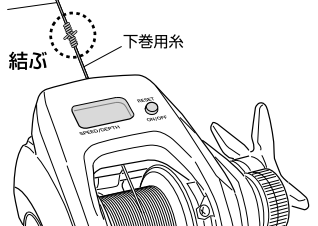
- 3 表示が [0.0] のときに、スイッチを 15 秒間押し続けてください。
 ※ 5 秒で表示が消えますがそのまま押し続けてください。8 秒でアラーム設定の画面になりますが、そのまま押し続けてください。
 ・ 11 秒で LED 設定の画面になりますがそのまま押し続けてください。



- 4 道糸設定画面になり [P1] が点滅します。(ここで一旦スイッチを離してください。)

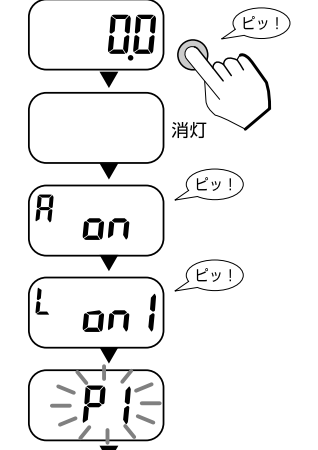
■P2：下巻き入力 ●ただし長さのわかる道糸が 100m 以上必要です。

- 1 下巻用糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。
 ※スプール面での糸滑り防止のため、必ずしっかりと糸を結んでください。
 ※ドラグをしっかり締めてください。



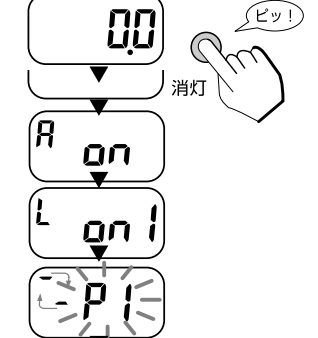
- 2 下巻用糸を巻きます。
- 3 上糸をしっかり結びます。

- 4 スイッチを押してカウンターを表示させ、表示が [0.0] のときに、スイッチを 15 秒間押し続けてください。
 ※ 5 秒で表示が消えますがそのまま押し続けてください。8 秒でアラーム設定画面になりますが、そのまま押し続けてください。11 秒で LED 設定の画面になりますがそのまま押し続けると道糸設定画面になり [P1] が点滅します。(ここで一旦スイッチを離してください。)



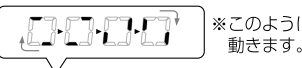
■P3：引出し入力 ●道糸を巻き終わった状態から再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が 60m 以上必要です。

- 1 スイッチを押してカウンターを表示させ、表示が [0.0] のときに、スイッチを 15 秒間押し続けてください。
 ※ 5 秒で表示が消えますがそのまま押し続けてください。8 秒でアラーム設定画面になりますが、そのまま押し続けてください。11 秒で LED 設定の画面になりますがそのまま押し続けると道糸設定画面になり [P1] が点滅します。(ここで一旦スイッチを離してください。)



- 2 スイッチを 2 回押しして、[P3] (引出し入力) 画面にしてください。
 [P3] と [30] が交互に点滅し、引出し入力画面になります。

- 5 実際に釣りをする時と同じくらいのテンション (500g 程度) をかけて道糸を巻きます。



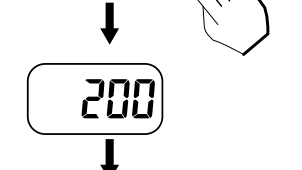
- 6 糸を巻き取り始めると、[P] のまわりの枠が回転します。



- 7 巻き終えたら表示が [50] になるまでスイッチを 5 秒以上押ししてください。(50 は初期値です。)



- 8 設定したい長さになるまでスイッチをくり返し押しして道糸の長さをセットします。(図は、200m 入力した場合です。)
 スイッチを押すと 10m 単位で 990 まで数値が上がり、990 を越えると 50へ戻ります。



- 9 設定した長さが表示されたら、スイッチを 5 秒以上押ししてください。(アラーム音が鳴り、表示が [0.0] になれば完了です。)



※ [Err] になった場合は、再度入力又は、引出し入力 (P3) をしてください。

- 5 スイッチを 1 回押しして [P2] (下巻き入力画面) にしてください。
 [P2] が点滅します。(上糸が 100m の場合は 7へ)



- 6 テンション (500g 程度) をかけて残り 100m になるまで道糸を巻いてください。
 糸を巻き取り始めると、[P] のまわりの枠が回転します。



- 7 スイッチを 5 秒以上押ししてください。([50] になります。)



- 8 テンションをかけて糸色に注意しながら 50m 道糸を巻いてください。
 糸を巻くと表示は、[P2] になります。



- 9 スイッチを 5 秒以上押ししてください。(表示の数字が [100] になります。)



- 10 テンションをかけて糸色に注意しながら残り 50m 道糸を巻いてください。
 糸を巻くと表示は、[P2] になります。



- 11 巻き終えたらスイッチを 5 秒以上押ししてください。表示が [0.0] になります。



※ [Err] になった場合は、再度入力又は、引出し入力 (P3) をしてください。

- 3 糸のマークに注意しながら、30m 引出してください。糸を出すと、[P3] 表示になり、P のまわりの枠が回転します。



- 4 スイッチを 5 秒以上押ししてください。
 [P3] と [60] が交互に点滅します。



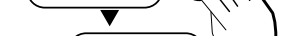
- 5 糸のマークに注意しながら、さらに 30m 引出してください。糸を出すと、[P3] 表示になり、P のまわりの枠が回転します。



- 6 スイッチを 5 秒以上押ししてください。表示が [60.0] になります。



- 7 引出した糸を 60m 巻き取り完了です。



※ [Err] になった場合は、再度入力をしてください。スイッチを押せば、[0.0] に戻ります。